

弥彦村社教だより

令和2年10月23日 NO.18

弥彦村社会教育委員の会

《第6回地域づくり交流会》

昨年度行われた第5回交流会は、中・高校生が初めて参加し、新たな期待が生まれた会となりました。30名を超える参加者が5グループに分かれ、「あいさつを交わしやすい村づくりを目指して私たちは何ができるか」をテーマに協議を行いました。各グループが熱心に話し合い、様々な意見が出されました。その意見をまとめ、今年度から取組の計画を立てて取り組む予定でした。計画はできたものの、残念ながらコロナの影響で、実行に移せずにいます。これから、少しでもやれることから取り組んでいく予定です。



さて、今年度は、コロナのために開催を危ぶむ声が聞かれましたが、「このような状況だからこそ、交流会を開催するべきだ。」との声に押され、開催を決断しました。コロナ感染予防を徹底して、会を運営いたします。

下記により、再度ご案内いたします。多くの皆様の参加をお待ちしております。

～地域づくり交流会の概要～

日時 令和2年11月28日(土)

15:30～17:30(予定)

会場 弥彦村役場 大ホール

内容

(報告)

- ① あいさつマーク運動の進捗状況
- ② 第2回PR動画コンクールの開催に向けて

(協議)

「村の活性化のため、私たちは何ができるか？」

申込み ・社会教育委員の会事務局 94-4311 (担当: 徳永・堀)
・各社会教育委員に直接申し込む

その他 ・不明なことがあれば、事務局にお問い合わせください。
・コロナ禍で様々な問題が発生する中で、生活、仕事、地域社会、観光など、日頃考えていることを声に出して、話し合ってみませんか。

(文責 渡辺)



《スクールサポーター初会合》

前号では弥彦村スクールサポーターの活動について紹介させていただきましたが、引き続き、現在の状況や今後取り組んでいきたい内容を紹介させていただきます。

弥彦村の小中学校には、学校の先生や教育委員会だけでは解決できない様々な課題があります。例えば、登下校時の安全確保や、学校の校地内の環境整備などです。一つ一つは大きな問題でなくとも、それが多くなると、解決までの道のりが遠くなってしまいます。

地域の人たちからほんの少しだけ力を借りるだけで、解決につながるものが沢山あります。「できるときにできることを」していただけるだけで、大きな力になります。現在、弥彦村スクールサポーターの登録者数は10名です。まだまだ、私たちの活動が知られていないこともあり、少ないと感じています。

そんな中、9月24日に弥彦村スクールサポーターの打ち合わせ会を行いました。現在の登録者には、すでに退職された方、お仕事の合間に力を貸していただける方、様々な方がいます。皆が「できるときにできることを」したい、と参加してくださいました。

コロナ禍の中、思うように活動ができませんでしたが、今後は教育委員会や学校と調整を行いながら、子どもたちのためにできることに取り組んでいく予定です。また、いずれ小学校の一室を弥彦村スクールサポーターの本部として、地域の方々が気軽に学校に足を運んでいただけるようにしたいと考えています。

地域の子どものために一緒に活動に取り組んでみませんか。登録をお待ちしております。（問合せ先：弥彦総合文化会館 94-4311 徳永まで）（文：柏原）



《PR動画実行委員会》

弥彦村社会教育委員の会で話し合い、来年度に開催しようということになっている『弥彦PR動画コンクール』ですが、現在、開催に向けて実行委員会を立ち上げているところです。

前回の社教だよりで、「実行委員をぜひ、やってみたい！」と名乗りをあげてくれたフレッシュな高校生の阿部さんを紹介しました。元々、この『PR動画コンクール』の目的は、自分の好きな弥彦村を写真で撮ったり、動画にすることで、自分達の住む弥彦村の魅力を再発見してもらうこと。それらを発信することで、益々、弥彦の素晴らしさを村内外の方々に知ってもらうこと。そして、それが縁で弥彦を訪れる機会となることで、地域活性に繋がってほしいこと。という願いが込められています。

実行委員となってくれる仲間が1人、また1人と増えて、弥彦村を盛り上げたい気持ちの輪が広がってくると嬉しいです。今回も実行委員の仲間入りを決めてくれたメンバーさんを紹介します。（文責 那須）



～PR動画コンクール実行委員になりました～ 伊達皇輝（こうき）さん

皆さん、こんにちは。弥彦村出身、キックボクシングチャンピオンの伊達皇輝です。この度、ご縁ありましてPR動画コンクールの実行委員会のメンバーになりました。

弥彦村で生まれ、弥彦村で育ち、弥彦村が大好きで、現役時代はインタビューやリング上で「新潟県の弥彦村からやって来ました!! キックボクシング界のスーパースター、豪腕伊達皇輝です!!」というのがお約束でした。弥彦山からの風を背中に感じ、それを力にして世界の強豪と戦う素晴らしい経験をさせていただきました。弥彦村に恩返しができる活動に参加できることをとても嬉しく思います。



伊達皇輝さん

弥彦村の素晴らしい魅力を全力で皆さんとPRしていきたい。皆さん、熱い〔弥彦愛〕よろしくお願ひします!!

《スポーツ少年団紹介No.1》

汗を流す子どもたち。熱い心で導く指導者。それを支える温かい保護者。地域の子どもと大人が、スポーツを通じて互いに関わり合う、そんなスポーツ少年団の活動を紹介します。初回は空手教室です。

★空手教室

設立：昭和56年6月26日 現在39年目
指導者：木原（39年目）、阿部（4年目）計2名
団員数：21名（これまで約200名を指導）
練習：空手の基本である「突き・蹴り・受け」をその場で行い、その後移動しながら「突き・蹴り・受け」を行う。
週3回の練習で曜日をわけて、形の練習、組手の練習を行っている。



<指導者の木原さんと阿部さんにインタビュー>

Q：地域の子どもたちとのかかわり方（コツ）は？

A：練習中の礼儀を大切にしています。指導者との会話も学年に合わせて気を付けています。練習中以外は、近況を聞いたりしながら身近な存在として接し、子どもたちがわからないことを聞きやすい雰囲気にするよう気をつけています。

Q：指導を続けていく上でのモチベーションは？

A：子どもたちが大会などで勝つ喜びや、負ける悔しさを感じて、日々努力して成長する姿を見ることがモチベーションにつながっています。空手は帯の色で級があり、1級が茶帯、その次が初段で黒帯となります。本人の努力もうれしいことですし、教え子を認められるうれしさもあります。

Q：空手教室のPRをどうぞ

A：スポーツ少年団としては小中学生が対象ですが、会としては保育園年長から大人まで参加できます。親子で一緒に空手をしてみませんか。事前にお電話をいただくか、練習日に直接来ても見学可能です。

練習日：月（サンビレッジ弥彦）、水（弥彦中学校体育館）、木（弥彦体育館）
いずれも19時～21時 代表者 木原（94-2447）

（文責 阿部）

《いきいき県民カレッジの紹介》

新潟県では、生涯学習社会の実現に向けて『いつでも、どこでも、自分の希望するものを学びたい』という県民の要望に応えることを目的に、新潟県知事を学長として、「いきいき県民カレッジ」実施しています。詳しい内容は、以下の通りです。興味のある方は、ぜひ、受講してみてもはいかがでしょうか。（文責 渡辺）



受講手帳

<ポイント>

- ① 県・市町村・大学・専門学校・NPO等の民間団体の学習講座を登録
- ② 県内在住者は誰でも登録
- ③ 1時間1単位の認定で、一定単位を修得すると学長が奨励証を交付

<入学から奨励証申請まで>

入学：インターネット「ラ・ラ・ネット」の掲載講座から希望講座を見つけ、実施機関に直接申し込み、受講する。⇒ **いきいき県民カレッジ入学完了**

受講：講座終了後、実施機関で「受講手帳」にスタンプを押してもらるか、シールを貼る。手帳は、実施機関かカレッジ本部にある。⇒ **1時間=1単位=1スタンプ**

申請：単位を修得し奨励証交付を希望する場合は、受講手帳の申請書に必要事項を記入し、カレッジ本部に受講手帳を送付する。⇒ **奨励証の発行**

奨励証： チューリップ賞（50単位） 雪椿賞（100単位） 朱鷺賞（200単位）
越佐賞（300単位） 日本海賞（400単位） 学長賞（500単位）

学習分野：

- ①新潟地域学（ふるさとの文化・歴史・自然を見つめなおす）
- ②家庭・地域（家庭生活を豊かにする、地域の活性化を図る）
- ③社会・経済（政治・経済・社会に関する事柄）
- ④自然・科学（自然や科学に関する事柄）
- ⑤技術・技能（職業能力の開発や資格取得を目指す）
- ⑥芸術・文化（豊かな生活創造を目指す）
- ⑦健康・スポーツ（健康増進、体力増強の活動や健康に関する事柄）
- ⑧国際交流・語学（国際感覚の醸成、国際交流を目指す）

委員長	渡辺 和也（矢作）	副委員長	柏原 路子（麓二区）
委員	那須 裕美子（川崎）	委員	河井 昌之（弥彦中校長）
委員	半間 義之（矢作）	委員	石井 亘（井田）
委員	阿部 朗子（弥彦）		
事務局	堀 隆行・徳永 拓実（教育課）		

※ ご意見、お聞きになりたいことがある方は、近くの委員、もしくは、教育課事務局にお電話ください。（事務局 94-4311）